

和渕小学校 国語授業研修 二年「いろいろな おとの あめ」

令和二年八月二十六日(水) 二校時

指導者 教諭 佐藤 哲平

【学習の導入】四分

- T 鉛筆は(教科書の)今日の所に挟んでたたむ。椅子は入れなくていいです。
- T 月曜日に音を探してみました。教室でも音が聞こえるかも知れませんが、目をつぶって聞いてみましょう。(二十秒間)
- T どんな音がしましたか?
- C 机を引く音。
- C 風の音。
- C 椅子を引いている音。
- C 扇風機の音。

【よむ】三分

- T いろいろなおとのあめ、こういう勉強をします。読んでもらいます。教科書を開いてください。
- T うちで読んだ人?(十六人挙手)
- T 最初から最後まで読んで、題名読んだら、作者は読まなくていいです。
- C (一人目が音読をする。)
- T ありがとう。
- C (二人目が音読をする。)
- T 二人ともリズムよく、一生懸命読んだことが伝わってきました。
- T 読む順番は決まっているの? では、一番かおるさん。二番るかさん。三番てんせいさん。立って、はっきりゆっくり
- T 本を静かに置いて。ボタンとしないで静かに。どの人もゆっくり読んでくれた。よかったよ。

【とく】十六分

○ 題目+ひびき

- T 教科書の中のどれが雨ですか。
- C 水色の：。
- T いろいろな所にあるんだね。雨降っている中で気が付いたこと。何に?
- C 雨が物に当たる音。
- C 雨が降ったのに気付いた。
- C いろいろな音に気付いた。

T 雨の音をあらわしているのはどれ？  
T 指さした所、言葉で表現してください。

C (教科書の絵を指さす。)

C 屋根の方に。

C 窓に当たる。

T 傘に水しぶき。猫のしっぽ。他にあるかな？絵から探してみよう。

C 犬の鼻です。

C カエルの：。

C 車。

C 女の子の手のひら。

C 猫のしっぽ。

C すみれ。

T みんな、すみれ分かるかな？

C (分かっているよう)

○ 手引き

T 黒板に詩を書いていきます。空ける所とか気を付けて書いていきます。作者は書かなくていいです。間が空いている所は、一まず空けて書いてください。

T (黒板に詩を書く。)

C (教科書を見て試写する。)

T (黒板に書き終わって、教科書の原文とチェックして間違いを直す。)

T 書ききれなかったお友達は、うちで書いてみましょう。教科書、ノートを閉じてください。

【よむ】二分

T 一回目は声に出さずに読む。二回目は声に出して読みます。

T (むちを使って指黙読させる。)

C (指黙読をする。)

T 次は、声を出して楽しく読んでいきます。

C (指音読する。)

T リズムよく読めたと思います。いろんな音が出てきました。

【とく】十分

○ 語義

T 分からない言葉はありますか。

C ない。

○ 区分

T この詩を三つに分けてみたいと思います。分かりやすですよね。一つ目はここにします(黒板に黄色いチョークを入れる)。



- T 二つ目は？
- C はっぱからくるままです。
- T 今日は、この二つ目を二つに分けようと思います。
- C はっぱから手のひらまでと、そのあと。
- C ほっぺまでとくるままです。
- T 先生もそう分けようと思っていました。
- C なんで？ なんで？
- C 音が違ってくるから。
- T あたつとと、○○に。

○ 心

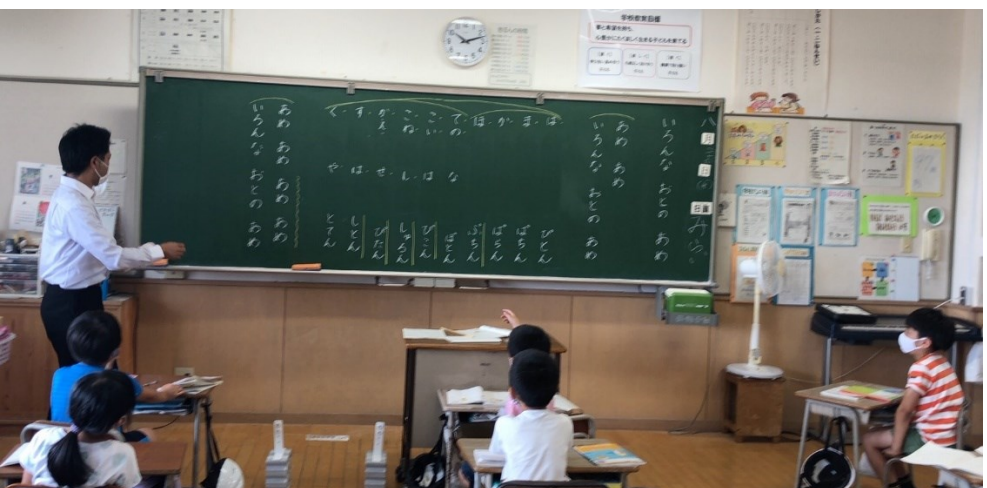
- T この音を聞いているのはだれ？
- C 女の子。
- T 皆さん、女の子のようにこんな音聞いたことありますか？
- C ある。
- T 聞いたことない音ありますか？
- C しゅるん。
- C びたんという音。
- C しとんというのが、聞いたことがない。
- C ぶちん。
- T それぞれ聞いたことのある音、ない音があったと思います。

○ 余韻

- T はじめと終わりで、女の子が楽しくなってきたという言葉があるんだけど、どれかな？ちよつと変わったところがあるんだけど。
- C 最初と最後の、あめあめと、あめあめあめあめ。
- C あめあめが四つに増えている。

【よむ】十分

- T 楽しく読んでみましょう。
- C (全員で音読する。)
- T もう一回音に気を付けて。
- C (全員で音読する。)
- T 上手に読めました。
- T (黒板の詩を)少し消します。(途中の字を消す)
- T 心の中で読んでみましょう。
- C (指黙読をする。)
- T 今度は声に出して。
- C (指音読をする。)





T もう少し消しても大丈夫かな。

C だめえ。

T 挑戦してみようか。

T 最初は声に出さずに挑戦してみよう。

C (指黙読をする。)

T 読めるところに挑戦してみます。この時間最後に

楽しく読んでみましょう。

C (指音

T これで

読する。  
終わります。